

# 第7回 まちづくり市民ワークショップ《いばらきMIRAIカフェ》ニュース

日時:平成 25 年 11 月 24 日(日)、9:30~11:50

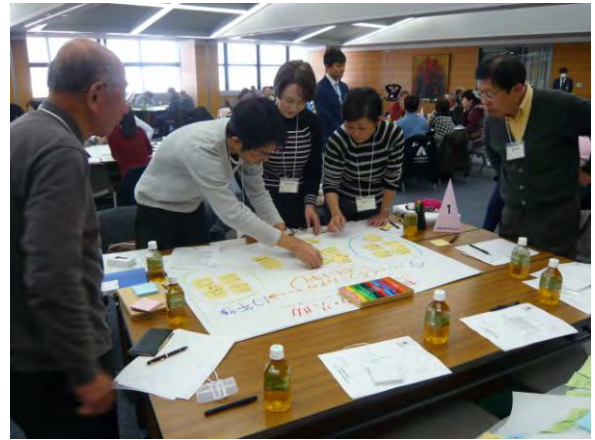
場所:茨木市役所南館 10 階大会議室

## ◆ 次 第 ◆

(開会)

- はじめに
- グループワーク
  - ・市民力で進めるまちづくり
  - 「事業提案」をつくろう!
- その他(事務連絡など)

(閉会)



当日の会場の様子

第7回ワークショップは54の方に出席いただきました。

第6回で考えた「目標」に対して、「事業提案」を検討しました。事業提案は、「自分がすること」「自分たちでできること(班のメンバーと一緒にできること)」のステップで考えました。また、アドバイザーの近畿大学久先生からは、事業提案の考え方などの話題提供をいただきました。

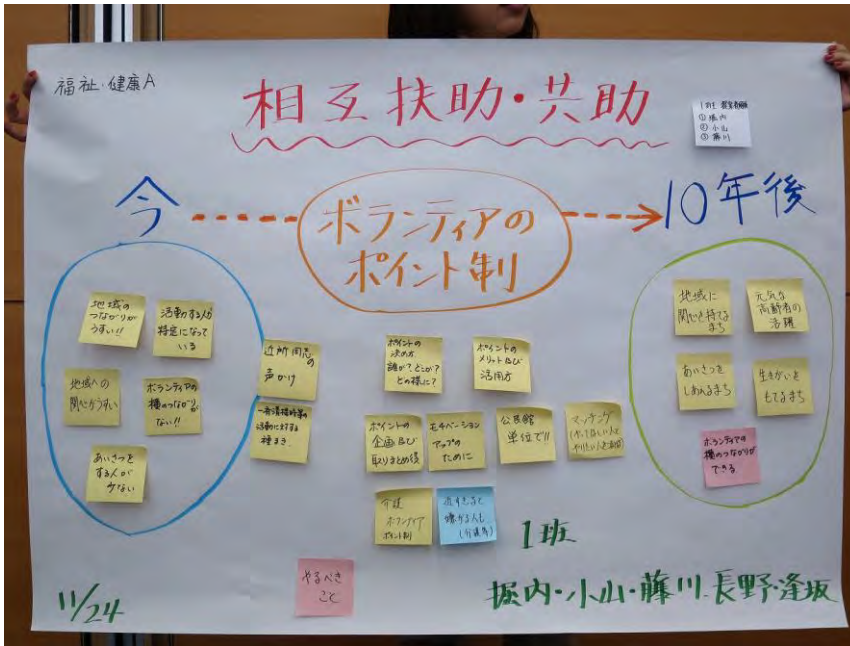
## ◆グループワークの様子



## 【参加者の感想】

- ・話し合いの内容がどんどん具体化し、面白くなってきました。
- ・自分たちでできることはなかなか浮かばなかったけれども、これからのワークショップで他の人の意見を聞きながら自分の可能性を引き出してもらえればと期待します。
- ・WSの活動として何か事業を実践することができればと思う。
- ・固定メンバーで話をすることで、より盛り上がる事ができた。
- ・「やるべきこと」までは皆何かしらの意見がでたが、いざ「自分がすること」となるとなかなか出てこなかった。「勇気を持つ」という意見があったが、それに尽きると思った。
- ・テーマの選定で、より具体的な意見・提案が出て良かった。健康をテーマにしたがよりイメージしやすい事業とするため、活発な意見交換ができた。
- ・大きな枠では考えはまとまっていた。そこから細かいところを深く追求していくことができて面白かった。
- ・今までは理想・ロマンを話し合い「その為に為すべき事」まで話し合えました。

《各グループの提案》 詳しい発表は第8回で行います。



福祉・健康

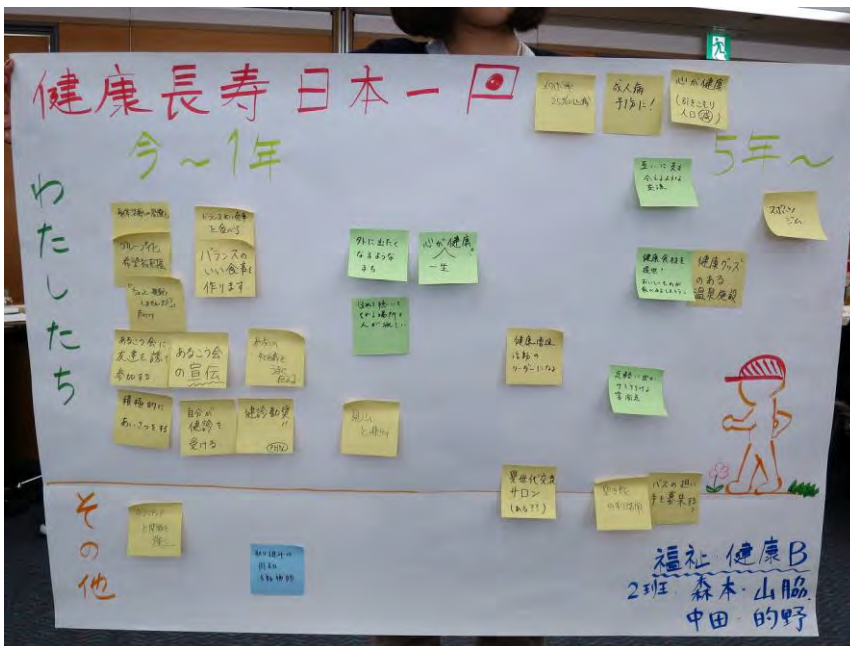
1班

【事業案】

- 相互扶助・共助  
ボランティアのポイント制

(わたしたちができること)

- ・ 近所の声かけ
- ・ 一斉清掃時等の活動に対する種まき
- ・ ポイントのメリットおよび活用
- ・ 介護ボランティアのポイント制など



福祉・健康

2班

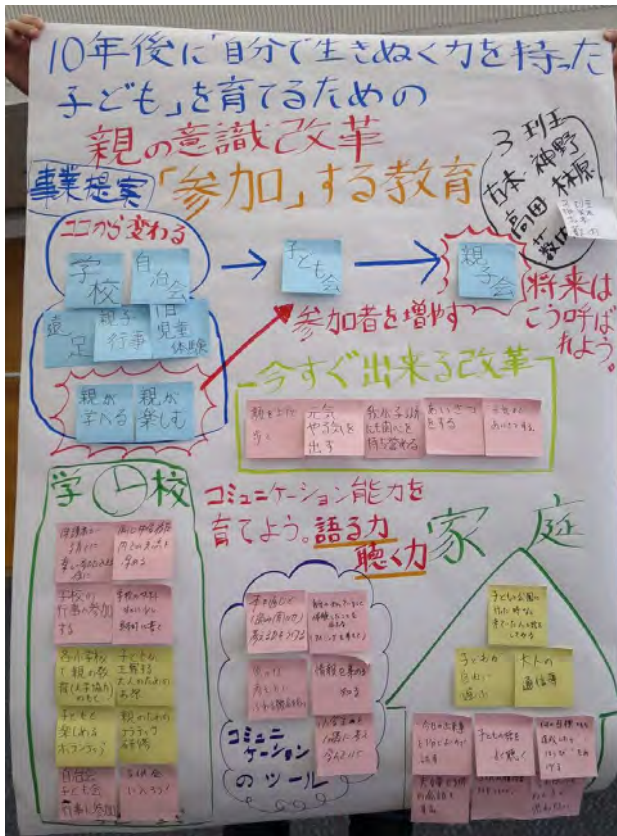
【事業案】

- 健康長寿日本一

- メタボ 25%低減
- 成人病予防
- 心が健康(引きこもり人口減少)

(わたしたちができること)

- ・ バランスのいい食事をつくります
- ・ 「あるこう会」の宣伝 ・「あるこう会」に友達をさそって参加する
- ・ 健康増進のリーダーになる
- ・ 健診を勧奨する ・自分が健診を受ける
- ・ 積極的にあいさつする
- ・ 「ちょっと運動しませんか？」と声かけする など



【事業案】

- 10 年後に「自分で生きぬく力を持った子ども」を育てるための親の意識改革 「参加」する教育

(わたしたちができること)

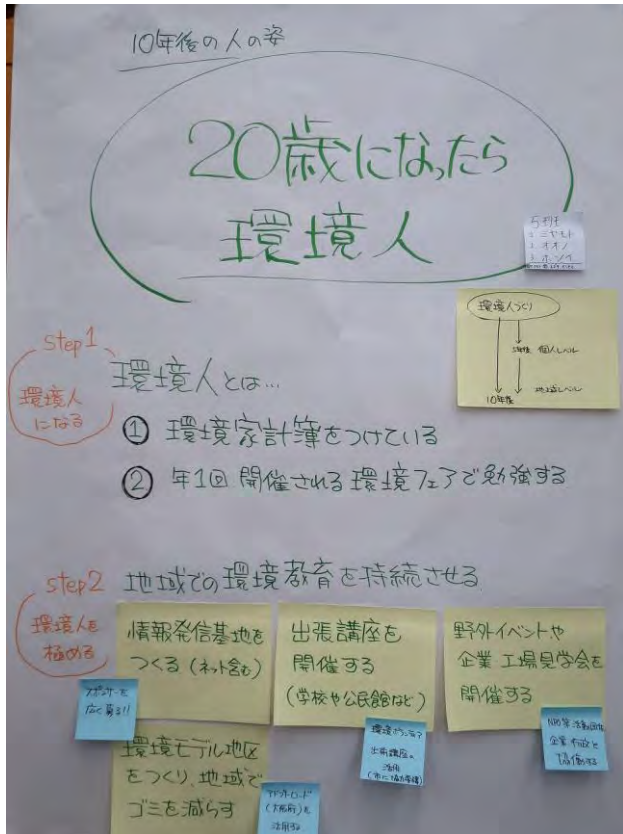
- 子ども会(将来は「親子会」と呼ばれよう)の参加者を増やす
  - ・ 親が学べる、親が楽しむ
- コミュニケーション能力を育てよう。語力・聴く力
  - ・ 自分の知っていることを伝える
  - ・ 本を通じて(読み聞かせ)考える力をつける
  - ・ 夫婦で子どもの会話をする ・子どもの話をよく聴く
  - ・ 子どもと公園に行った時など、来ていた人と話をしてみる
- 今すぐ出来る改革
  - ・ 顔を上げて歩く
  - ・ 元気よくあいさつする
  - ・ 元気 やる気を出す
  - ・ 我が子以外にも関心を持ち、誉める
  - ・ あいさつをする など



(わたしたちができること)

- 文化
  - ・ 歴史を知る
  - ・ 茨木の街を歩いて歴史を知る
- 人
  - ・ 学生バンクづくり
  - ・ 学校開放
  - ・ 学力向上プランの推進・充実
  - ・ 地域連携の研究
  - ・ 高齢者と学生と子どものつながり
  - ・ 元気な高齢者がたくさん声をかけられる
- 環境
  - ・ 3R 積極的に子どもと取り組む
  - ・ 場所の提供、自治会、公民館
- 自然
  - ・ 山間部を身近に
  - ・ キャンプの目的別ツアー
  - ・ 農家の方にも小中学校に来てもらい野菜のでき方を学ぶ
  - ・ 茨木産の食材を使った学生イベント

など

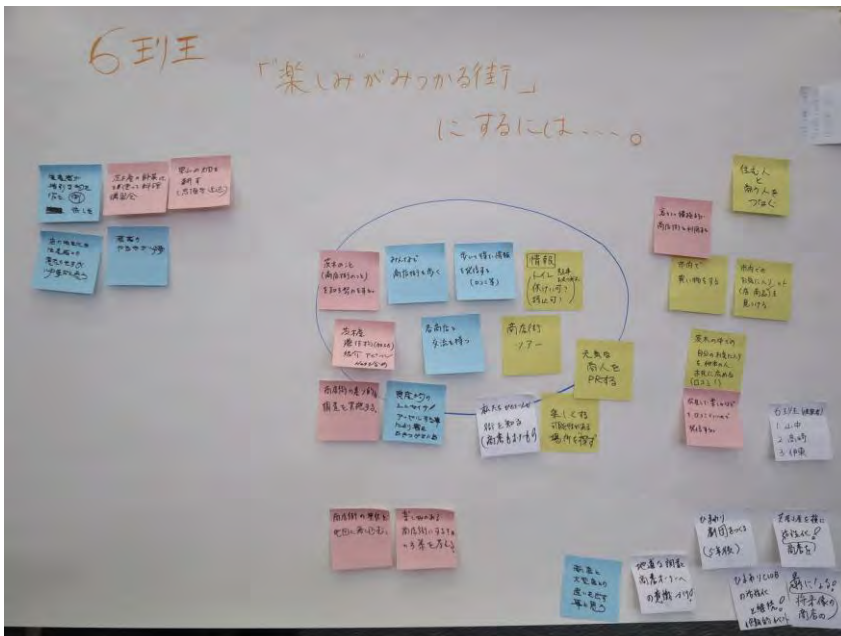


【目標】

- 20歳になったら環境人

(わたしたちができること)

- STEP1: 環境人になる
  - ・ 環境家計簿をつけている
  - ・ 年1回開催される環境フェアで勉強する
- STEP2: 地域での環境教育を持続させる
  - ・ 情報発信基地をつくる(ネットを含む)
  - ・ 出張講座を開催する(学校や公民館など)
  - ・ 野外イベントや企業・工場見学会を開催する
  - ・ 環境モデル地区をつくり地域でゴミを減らす



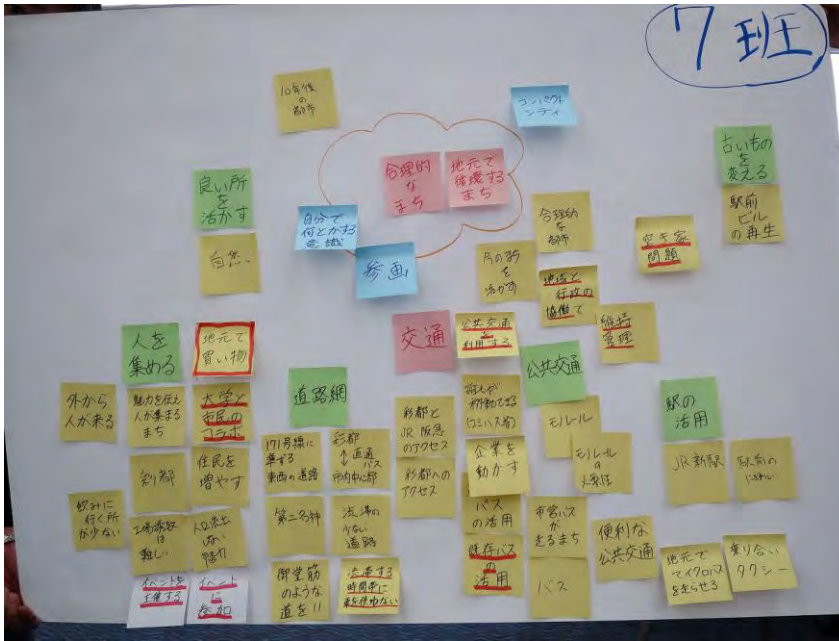
【目標】

- “楽しみ”がみつかる街

(わたしたちができること)

- ・ みんなが商店街を歩く
- ・ 茨木のこと(商店街のこと)を知る努力をする
- ・ 茨木産農産物(加工品)を紹介・アピールする
- ・ 各商店と交流をもつ
- ・ 商店街ツアー
- ・ 楽しくなる可能性がある場所を探す
- ・ 元気な商人をPRする
- ・ 楽しみのある商店街にするための方策を考える

など



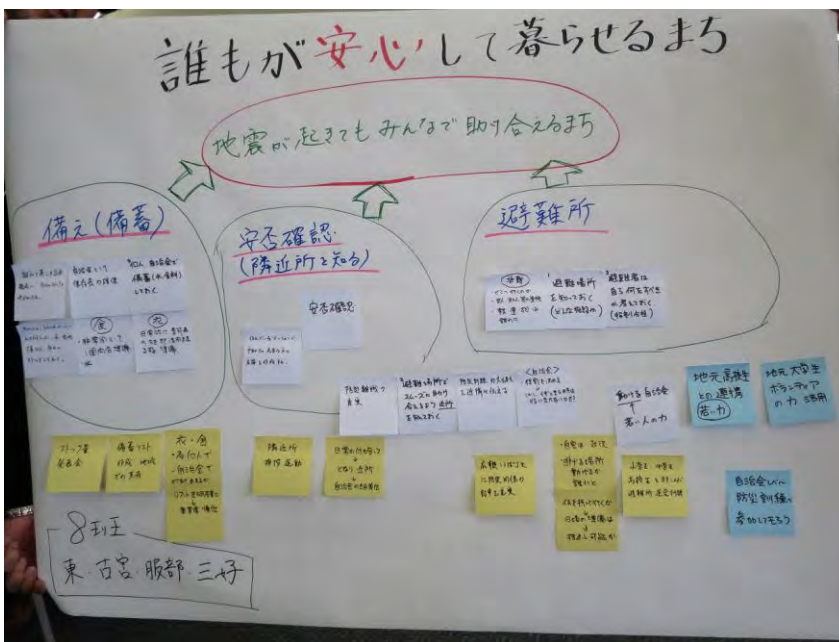
【目標】

- 合理的なまち  
地元で循環するまち

(わたしたちができること)

- ・ 空き家問題
- ・ 地域と行政の協働で維持管理
- ・ 公共交通を利用する
- ・ 渋滞する時間帯に車を使わない
- ・ 地元で買い物
- ・ 大学と市民のコラボ
- ・ 既存のバスの活用
- ・ イベントに参加
- ・ イベントを主催する

など



【目標】

- 誰もが安心して暮らせるまち

【事業案】

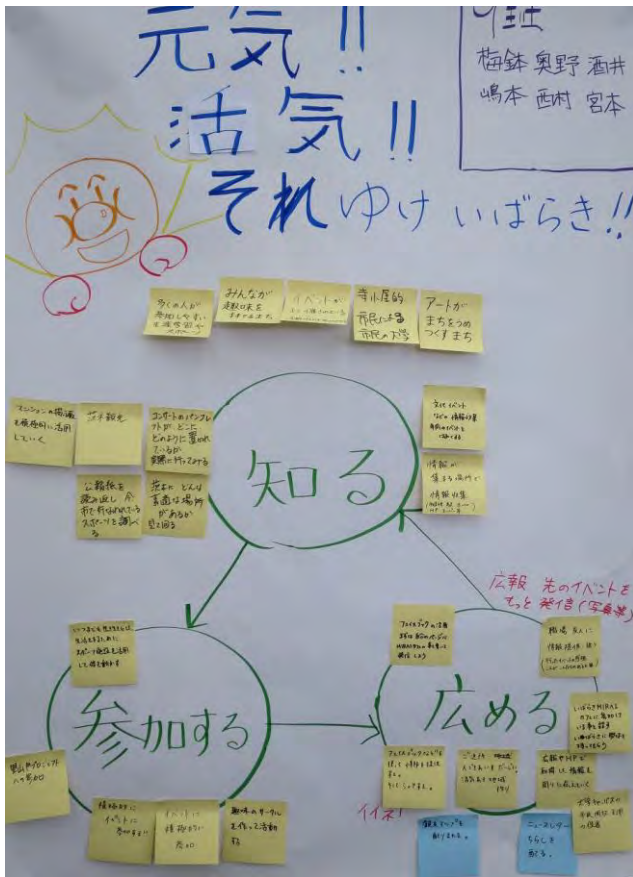
- 地震が起きたらみんなで助け合えるまち

(わたしたちができること)

- 備え(備蓄)
  - ・ 自治会として保存食の備蓄
  - ・ 個人、自治会で備蓄(水・食料)しておく
  - ・ 地域で備蓄リストを作成
  - ・ ストック量の発表会
- 安否確認(隣近所を知る)
  - ・ 住んでいるマンションで名簿を作成する
  - ・ 防災組織の充実
  - ・ 避難場所でスムーズに助けあえるように近所を知っておく
  - ・ 隣近所あいさつ運動

● 避難所

- ・ 避難場所を知っておく(どんな施設か)
- ・ 避難場所で自ら何をすべきか考えておく(役割分担)
- ・ 小・中・高生を巻き込んだ避難所運営訓練



【目標】

- 元氣!! 活気!! それゆけいばらき!!

(わたしたちができること)

- 知る
  - ・マンションの掲示板を積極的に活用していく
  - ・広報誌を読み返し、今、市で行われているスポーツイベントを調べる
  - ・茨木にどんなすてきな場所があるか見て回る
  - ・情報が集まる場所で情報収集
- 参加する
  - ・里山プロジェクトへの参加
  - ・積極的にイベントに参加する
  - ・趣味のサークルを作って活動
- 広める
  - ・広報先のイベントをもっと発信(写真等)
  - ・職場・友人に(イベント等の)情報提供
  - ・いばらき MIRAI カフェに参加していることを話す
  - ・フェイスブックの活用。まずは自分のページに MIRAI カフェのことを書いて発信する など



【目標】

- 一人ひとりの役割分担!

【事業案】

- 情報提供・共有の場(ホームページ・イベント)でネットワークづくりと実践活動

(わたしたちができること)

- ・まつりをもりあげる。友達を呼ぶ。
- ・若い人に参加を呼びかける
- ・地域のイベントを若い人で盛り上げる
- ・地域の会に参加する
- ・やる気→やりがいに
- ・「みえる化」「わかる化」「いかす化」
- ・小規模農家の応援、人員の派遣
- ・ご近所ですれ違う人に笑顔であいさつする
- ・小さなショップや個人経営のつながりを活性化させる
- ・市民の意見交換の場づくり ・地域の若い人の集会
- ・市の広報と重複してもよから情報発信を行う
- ・人材・情報をつなぐ など



## 【事業案】

- 10年後の自治会長を育てる

(わたしたちのやるべきこと)

- 人を活かす
  - ・中学生の時から色々なことに参加してもらう
  - ・小学校へ出前授業・地域行事を創る
  - ・マチカフェをつくり元気なシニアの手作りランチを提供
- 自発的
  - ・自治会がなければつくる
  - ・顔見知りをつくさん作る
  - ・地域行事に参加する
  - ・年1回の自治会の総会くらいは参加する
- 民主的
  - ・みんなで情報共有・地域のことに興味を持つ
  - ・ものが言いやすい関係を普段からつくる

など

## ◆話題提供～久先生からヒトコト～

### 「とんがった」キャッチフレーズを考えることから学ぶ

・とんがったキャッチフレーズを考えるのは難しい。「とんがる」ことの難しさを経験してもらいたかった。「とんがる」ことで「誰かが我慢する」といったことが生じる。自分の思いを主張するだけではうまくいかない。そのことを理解することが大切。一方で、丸くなったキャッチフレーズが悪いのではない。丸くなっていくプロセスとして意見交換、共有があり、そのことにとっても意味がある。

### 「つなげていく」から「つながっていく」へ

・「つなげていく」は自分が周りの人をつなげる。「つながっていく」は自分の行動や思いで、自分が周りの人とつながる。「つながっていく」は難しいことではなく、交流の機会を多く作っていけば、自ずとつながっていくものだと思う。このMIRAIカフェを継続することで「つながっていく」のではないのでしょうか。また、自分達の手でこのMIRAIカフェの運営ができるとよい。



近畿大学 久先生

### 【参考事例：「つながっていく」取り組み】

自分達でできることの取り組みからつながりができている事例をご紹介します。

- にぎわっ茶会(大和郡山)・・・2ヶ月に1回いろいろなイベントを実施。組織を使うのではなく、自主主体的に動きながら、その人をみんながサポートしている。
- 地域交流会(北千里)・・・自分が楽しんでできることから始めて周りを巻き込んでいる。
- 都島ドットコム(都島区)・・・ポータルサイト、一人の人がHPを開発、ママコム500名が登録
- 平野郷(平野区)・・・月2回集まってワイワイガヤガヤ。「ひとりひとりの、小さくて、持続的な、まちづくり」をキャッチコピーにおもしろいこと(自分達がおもしろいと感じること)をいい加減にやる(自分たちの体力にあわせてやる)取り組みを行っている(HP おもしろい平野参照)

### ◆次回(第8回)の予定 市民力で進めるまちづくり「事業提案」をみんなで魅力アップ!

- 日時:12月14日(土)9:30~12:00、場所:茨木市役所南館10階大会議室
- ・今回とりまとめた事業提案の発表からスタートします。事業提案の魅力アップに向け、ワールド・カフェの手法(第2回参考)を応用した意見交換を行います。



発行:いばらきMIRAIカフェ事務局(茨木市企画財政部政策企画課 Tel072-620-1605)

ホームページ <http://www.city.ibaraki.osaka.jp/mirai>

Facebook ページ <https://www.facebook.com/ibaraki.mirai.project>